

はじめまして！！

2学期から地域支援センターからのおたよりを地支セン通信として発行していきます。よろしくお願いします！

地域支援センターの業務の一つに、地域の幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校に巡回相談や職員研修に行く業務があります。その中で相手校・園に伝えている事柄を、しばらくこの通信でお伝えしていきたいと思っています。

特別支援学校でよく活用されている視覚支援は、幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校でも同じように必要と感じる児童生徒が多く、視覚支援を活用することにより「分からない」や「困った」が少なくなり、有効な支援ツールになります。巡回相談で出た悩みに対して、こんな視覚支援を使ってみたら？と作成した視覚支援グッズなどを紹介していきます。の前に…こんな記事を見つけました！

視覚支援が必要なわけ（言葉を映像化する）

授業中に先生からこう言われたとします。

「鉛筆と消しゴムと定規を用意して…」

まず頭の中に映像として『鉛筆』と『消しゴム』と『定規』をイメージします。頭の中で耳からの情報（聴覚）を、視覚化させるんです。

視覚化させている間に先生の説明が続いています。

「# % \$ ' % R % # ' & ~してください。わかりましたか？」

鉛筆と消しゴムと定規は用意しました。

で、どうすればいいの？

肝心なところが、イメージ（視覚化）している間に分からなくなってしまう。

話を聞いていないわけじゃないんです（←ここ重要！）

正直に「わからない」と答えると怒られる。（経験則）

しょうがないので周りの様子を真似してなんとかしようとするしかないのです。

でも、あまりきょろきょろすると

「きょろきょろしない！集中して！」とまた怒られてしまいます。

理解できない理由があるのです。でも、それをうまく伝えられない。子どもの頃に、大人相手に「自分は聴覚情報を視覚情報に直してるんで、時間がかかるし理解しづらいんです。」

なんて説明できるわけもない。

だから視覚的支援が必要なんです。耳からの情報処理が遅いだけなんです。

理由が分かれば、人への見方が変わってくると思います。ただ、自分でうまく説明できないだけなんです。

株式会社 おめでとう 文:もりもと／奥平綾子